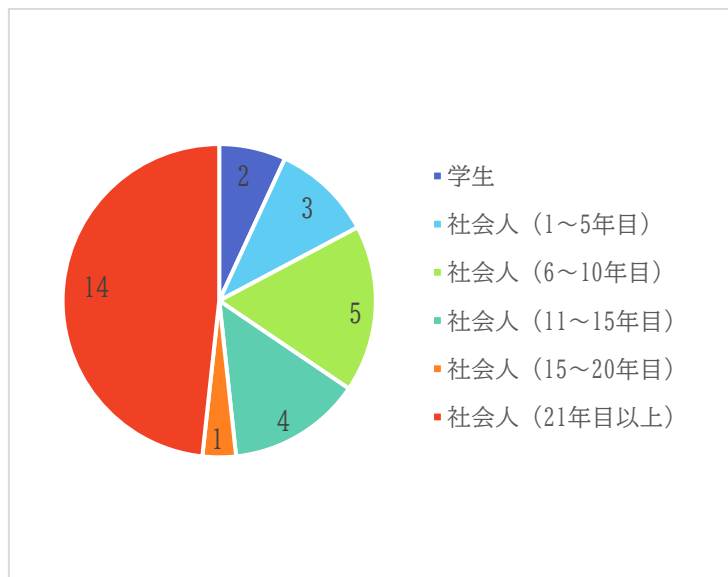


2023 年技術者交流サロン（現場見学会）

東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業現場&環境省中間貯蔵施設 アンケート結果

Q1. あなたの所属を教えてください

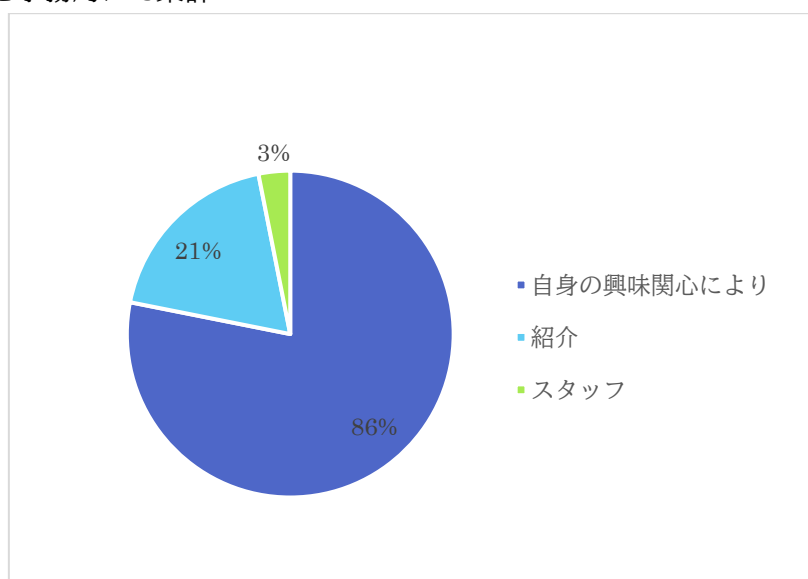
29 件の回答



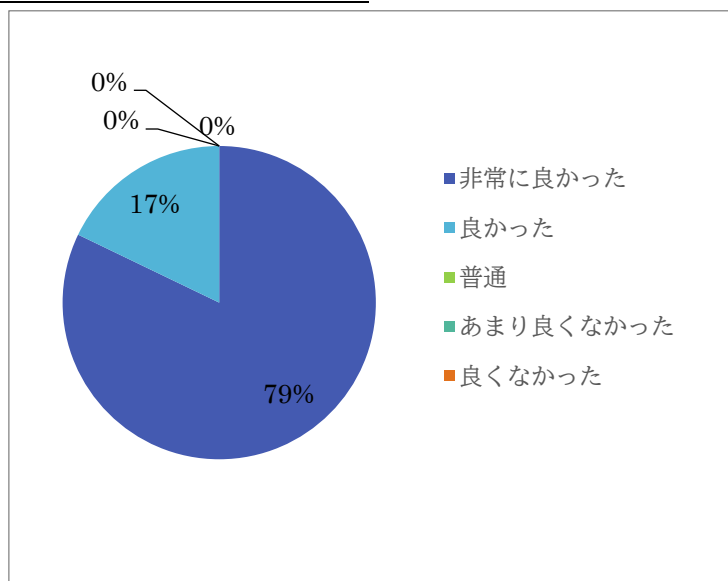
Q2. 見学会に参加しようと思った動機を教えてください。

29 件の回答

自由記載を事務局にて集計



Q3. 見学会全体の感想をお聞かせください。



Q4. 「福島第一原子力発電所廃炉作業見学」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

28 件の回答

- 現地を見ながら各施設を詳細に説明いただいたことに加え、土木技術者の方からもお話を聞いたのが勉強になりました。
- 現場はもちろんよかったです。事故の反省から対応まで、とても丁寧な説明をしていただいたと思う。
- 構内視察の際、デッキに上がって下を見下ろすと、防護服を着た作業員の方が見えました。デッキの上は安全な場所でしたが、被ばくの危険が、目で見える距離にあることが、少し怖く感じました。
- ”はじめて原子力発電所に入り、間近でニュース等でしか見たことがなかった施設を見て、各施設の詳しい説明を聞くことができ、貴重な経験をすることができた。実際に自分の目で見て、改めて非常に大きな事故であったことがわかった。
- 私自身も、東日本大震災で被災したが、10 年以上の時間が経過し、あの時の記憶が少しずつ薄くなっていると感じる。今回、原子力発電所に行き、まだ復興は終わっていないのだと痛感した。
- このような過ちを繰り返してはいけないと東電の方が言っていたが、土木技術者として常に人の命に関わる仕事に携わっているということを忘れてはいけないと思った。”
- 廃炉への道は長く、たくさんの人の協力の上に成り立つことがわかった。
- 1-4 号機前のデッキからの見学:テレビ等の報道で見ていたものが目の前にあるという迫力が大きく、廃炉作業を自分ごとに考えるきっかけになった。
- 社会的に大変なマイナスをもたらした事故の処理ということで、現場で働かされている

皆さんのモチベーションなどを勝手に心配していましたが、少なくとも、ご説明いただいた斎藤さん、堀内さんは、大変な気概をもって働いておられることを知ることでただけでも、来てよかったと思いました。

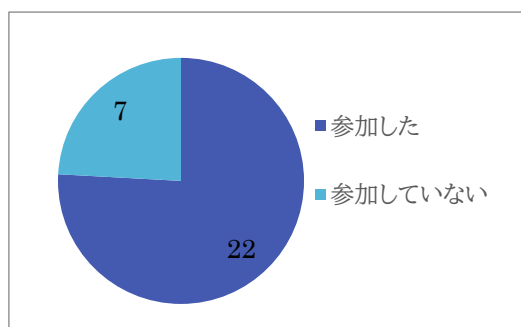
- 眼の前で廃炉の現状を見学できたこと
- 社員の方々の責任感や使命感に感銘を受けました。
- 実際の現場を近くで見て、社員さんにも質問できたのがよかったです。
- 初めは震災の影響や津波の当時の状況、原子力発電所の事故の様子を何も知らなかったのが、大変勉強になり理解が深まりました。
- 廃炉に向けた事故現場の整理が進められており、ほとんどの場所で防。護服が不要になっていることに驚きました。
- 着実に廃炉に向けて進んでいることが実感できました。
- 当時の報道で何となく解ったような気がしていた事(水素爆発の要因)が正しく理解できた
- 新たな街づくりだけが復興ではなく、廃炉作業が復興の第一歩である現状を理解したこと
- 廃炉が着実に進んでいることや、多くの人とその作業に従事していることに改めて気付かされた。
- ”13年が経過しても、まだまだ道半ばで廃炉する難しさを思い知らされた。建設会社がんばっているが、国民は知らないのではと感じた。この先、同じように廃炉作業を続けて行けるのか(担い手不足問題)非常に不安になる。”
- 現在報道されるのは何か事故があった時だけで、廃炉作業が日々進んでおり様々な新しい工事がされていることを実際に見ることができて良かった。
- 高い放射線量下での作業。土木屋が安全に廃炉を達成するための下支えになっていること。社員や作業員の一体感と仕事への誇りをどう維持していくのか。正門のところの建物の壁に自分の会社のロゴが掲示されていると誇りに思うことに気づいたので、作業に関わるすべての会社のロゴを並べてほしい
- 福島にとって、大震災がまだ終わっていないことを改めて感じた。東電の廃炉作業に関わっている方達も、一生懸命仕事を進めていることが伝わってきた。
- 社会的に大きな問題となり、いわばマイナスの仕事をしている現場の皆さんのメンタルを勝手ながら心配していましたが、実際に現場の皆さんのお話を聞き、また、メンタルケアの質問などもさせていただき、現場の皆さんがどのようなモチベーションで働いてらっしゃるかを知ることができて、これまた勝手ながら安心しました。厳しい環境の中、世界でも例のない仕事をしておられる皆さんに、敬意を表します。
- 事故から10年以上経った今でも安全を第一に作業を行ない続けていることを改めて知ることができました。見学者に対しても安全に対する配慮や、事故の概要や周辺への対応を含め、真摯に伝えている姿をみて、放射能に対する理解が深まるとともに、印象に

残っています。

- 小さな工夫がたくさんあり、安全第一が徹底されていて、自分の考えの甘さを認識した。
- 廃炉作業見学は不参加
- 説明も分かりやすく、現在どのフェーズにいるのか理解しやすかった。東京電力の方が未だに謝り続けていらっしやった事に、もう良いのではないかという思いと、まだ渦中なのだなという思いが生まれた。再稼働工事に従事していたこともあり、複雑な気持ちだった。
- まだ原発の被害は終わっていないのだなということが深く印象に残った
- ”何か一つ問題を解決するために、色々な分野の方々が一つになって一步一步廃炉に向けて動かれていることが感じられました。
- 放射線物質を取り扱うとのことで通常の工事よりも管理体制も厳しく、そのような状況の中でも 4000 人の方が働かれており、うち 7 割が福島の方ということで、みなさん廃炉に向けて協力しておられることに感銘を受けました。”
- 実際の現場を生で見学でき、廃炉作業の進捗状況も聞くことができ、勉強になりました。

Q5. 2 日目は参加されましたか。

29 件の回答



Q6. 「講演会 ふくしまの今を語る人」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

21 件の回答

- 福島の漁業が回復してきていることがわかりました。ありがとうございました。
- 観光業にダメージがあったことは覚えているが、その後の経過は報道が少ないためどうなったかわからない部分があったので、今後も含め様々な方が尽力されていることがわかった。
- 水産業に従事されている方の生の声が聞いてよかったです。福島の海産物、農産物、これからますます、おいしくいただこうと思います。
- 県の魅力がわかりやすく伝わった
- 地元の方の話を聞いて良かったです。これまで魚介類に関しては地産地消をあまり

意識して居ませんでしたでしたがこれからは地元のを購入しようと思いました。

- 資料がわかりやすかった。
- 震災後から土木の業界以外の話を聞いて、業界関係なく大変な状態だったことを知りました。そして、いろんな検証工夫をして頑張っていることも知りました。たくさん食べて応援したいと思います。
- 漁業の再生について地元の漁業者から直接お話を聞いたのは、貴重な機会でした。
- 原発事故の負の面だけでなく、福島の良いところ、美味しいものも紹介して下さったので良かったです。
- JTB の方の宣伝が半分占めていたような気がしたので、あまり『いま』について解らなかった
- 地元の方々の悩みや問題を直接聞く機会を持てた事が良かったです。
- 水産業も風評被害をうけながらも次世代へ繋いで行っている。
- 非常に良かった。どんな風に風評被害と対峙してきたかと、検査結果に自信を持っていることがわかった。
- 県事業で生産者の声を直接届ける企画をやられていることを初めて知ったとても良い取り組みと思い、広がって行って欲しいと思った
- 魚の取引単価が上がっていることを知って勉強になった。首都圏に福島の魚をたくさん食べてもらえるといいと思いました。
- 漁業者の生の声を聞くことができてよかったです。福島県産の野菜、果物、海産物を、これからはもっと積極的に購入しようと思いました。
- 風評を良くするために福島の魅力を伝えている姿が印象的でした。
- すみません。ピンときていませんでした。
- 講演の内容がとてもわかりやすかった。感情の話だけでなく、具体的な数字を踏まえた話から「今」を良く知ることができた。
- 個人的には、流通している福島産のものに対して適切な検査がされていることも知っていたので抵抗はないが、当事者の方々は様々な苦労と努力をされているのだと勉強になった。

Q7.「懇親会（1日目の夜）」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

22 件の回答

- 班ごとに盛り上がって良かった。
- 少人数で密に話すことができる良い機会でした。共通点探しの企画が面白かったです。
- 共通点探し、とてもよかったです！工夫をこらした懇親会、とても楽しめましたし、懇親が深まりました。ありがとうございました。沼田さん、司会、お疲れさまでした！
- ゲームのお陰で参加者同士の会話が弾んでよかった

- くじ引きのテーブル決めなど、顔見知りがないなかでの参加だったのでありがたかったです。二次会もオープンな雰囲気に参加しやすく、楽しい時間を過ごせました。
- ご飯が少なかった。
- 他業種だからこそのお話、他の方の視点が新鮮でした。私の周りもおじさんばかり男性ばかりなので、お姉さんのような存在の女性の方とお話できる機会がなく、今回はとても参考になりました。
- 美味しいお食事とともに、皆さんのお話を聞いて楽しかったです。できれば、全員の自己紹介を聞きたかったです。
- さまざまな年代、職種の方々とお話できて刺激を受けました。
- テーブルにそれぞれ担当がついて仕切ってくれたので話も弾みました
- 土木業界の中でも、色々な分野で活躍している方の生の声を聞く事が出来たことは非常に勉強になりました。
- 初対面でしたが、皆さんの配慮が嬉しかったです。
- もう少し色々な人と話せる時間が欲しかった。
- 懇親が深まる工夫がされており良かった
- 楽しいひと時を過ごしました。ゲームも楽しかったし、各団体からの一言も楽しかったです。沼田さんの司会が良かったです。
- ゲームをする事で話しやすくなって良かった
- たくさんの方と交流できて、とても楽しかったです。共通点探し、会話が弾んでとてもよかったです。沼田さんの素晴らしい司会、ありがとうございました。
- 職種や年齢の違う土木技術者と分け隔てなく交流ができたことがよかったです。
- なかなかほかのテーブルの方と話せなかった。
- まさに「心理的安全」を感じられる場でした。普段の胸にしまっていることを、誰もがここなら話せる、という雰囲気を感じました。初対面の人ばかりだけどすでにお互いを信頼している、素晴らしい空間でした。このような場を作ってくださったスタッフの皆様と会の先輩方に心から感謝します。
- 普段はお話することのできない方々と交流できて楽しかった。
- 土木業界の色々な立場の方たちのお話を聞くことができて参考になりました

Q8. 「震災から学ぶ in J ヴィレッジ」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

22 件の回答

- 震災当時の戦場のような姿に胸が痛んだ。
- 宿泊施設としてどのような貢献をされてきたのかを知れた。東電さんが寄贈された施設ということを知り、原発事故は問題だがもともとこれだけ社会貢献していた会社なんだ、ということが知れた。

- 雪男さんのご説明、わかりやすかったです。震災を経て、ただのスポーツ振興施設ではない魅力的な施設になっていると思いました。
- 復興拠点として利用されたことは知っていたため、今回の見学で施設を利用できたことがよかった
- 営業再開に至るまでの話をもう少し詳しく聞きたかった。
- 震災と原子力発電所事故によりサッカーができなくなってしまったことはとても辛い状況だったと思いました。スポーツを通じて復興や街に活気が出ればいいなと感じました。
- Jヴィレッジが、震災を経て、観光的にも魅力的な施設になったことを感じました。
- 当時、復興の拠点であったJビレッジで平和にサッカーができるようになったこと、とても感慨深かったです。
- Jヴィレッジの存在は知っていたが震災にそんなに関わっていた事実を知ることができて良かった
- 子供達のスポーツする姿は人の心を豊かにそして温かくしてくれました。
- 普通にサッカーができる事、と同じ様に、普通に仕事ができる事がいかに大事かという事に改めて気付かされた。
- 端正こめて育ててきたグラウンドが駐車場や資材置場、スクリーニング施設などに変わっていくのを目にしてきたスタッフや選手の気持ちが切なかった。復活したこと自体がすばらしいと思った。
- jビレッジの概要を知ることができて良かった
- 震災直後の戦場のような状況、Jヴィレッジの役割を写真などでもう少し知りたかった。子供たちがサッカーを通じて成長していくことに大きく貢献していると感じた。
- 当時、どんな風に使われていたのか、よくわかった。職員の方達が、できる事をやっていたのが印象的だった。
- Jヴィレッジのことを全然知らなかったのですが、震災で原発支援の拠点として機能したことを活かして、今現在も運営されていることに感銘を受けました。また泊まりに来たいと思いました。
- Jヴィレッジには初めて訪れましたが、震災時にグラウンドを全て駐車場にしていたことに驚きました。
- どこも大変だったんだなということくらいかしら。すみません。
- Jビレッジの歴史は震災後の福島の歴史と重なっていると感じました。風景を見ながらの説明はとても心に残りました。
- 震災によって本来の目的が果たせなくなった中、前を向き出来ることをやり続け数年かけてまさに復興したのだなと感じた。サッカーをやっていたので、プレイヤーとしてはなかったけどJヴィレッジにグラウンドが戻った姿を見られて嬉しかった。
- サッカーで有名なところだとは知らなかったですが、災害対応に置いて広大な平地と

宿泊施設が大きな助けとなることが分かった

- コートが潰されてしまうということはとても大変な決断だったと思う”

Q9.「建設系技術者交流会」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

21 件の回答

- 団体の紹介で、他団体のことを知ることができて良かった。また、技術職として復興に関わっているみなさんの話を直接伺うことができてよかった。
- 会社内である程度女性の人数が増えており、逆に社外との交流が減った気がしていましたので、社外を知れる良い機会でした。
- 我が団体と交流団体、人材が豊富だなあ、と改めて思いました。どの方の発表も、興味深く聞きました。ありがとうございました。
- 女性技術者活躍推進等を進める活動が各地で独自に取り組みがあり、また団体間の交流があることを知りました。喜ばしい。
- 女性の会が各地にあり驚きました。皆さん勢力的に活動されており本業の傍ら女性活躍推進の為に尽力なさっている姿に感銘を受けました。
- ベテランの技術者の話を聞いたのがとても勉強になった。
- いろんな会があり、全国それぞれの活動を聞く機会はとても貴重でした。おじさんたちばかりの経営者の考えを変えていかなければならないと言うお話、その通りだと感じています。私も頑張ろうと思いました。
- 各団体の取り組みを詳しくお聞きすることができました。皆さん、仕事や女性の後進のために主体的に活動されているのを知ることが出来て、嬉しく思いました。
- 北原さん、森さんのわかりやすい説明を聞き、自分のやっている仕事との繋がりも整理できました。
- 廃炉作業について発表者のそれぞれの立場、役割で話されていたので良く知ることができた
- それぞれの活動内容を理解出来た事と、仕事が忙しい中でも活動を継続している事に意気込みを感じました。
- 各方面でそれぞれ女性が活躍している事
- 他の団体の活動がよくわかって良かった。
- 各地域で団体活動があり、それらが今回繋がって活動が広がっていきけるきっかけになったと思う
- 各団体が魅力ある建設業のために取り組んでいることを知って素晴らしいと思った。話題提供では、皆さん、仕事内容だけでなく、仕事を通じて感じていることなどを話してくれたので、自分事としてとらえられた。とても良かったです。
- 自分では行けないところを見学できて、とても良かった。



- ご発表いただいた皆さんそれぞれの内容が素晴らしく、とても勉強になりました。今回の見学会の内容をより深く理解できる発表をしていただいた後半3人のみなさんが、すべて当会の会員であることに、当会の人材の豊富さを感じました。ありがとうございました。
- 多くの地域で女性技術者に対する支援会があり、活動内容などを知ることができました。
- それぞれの皆さんの発表が大変興味深かったです。女性団体や会社員としての公の話も勉強になりましたし、さらに個人としてどのような思いで仕事をしているかもお伝えしていただくことで、女性として建設業で仕事をしていくことの大きなヒントと希望をいただきました。
- 建設業界への関心を高めることと、次世代の育成はこれから重要な事だと共感した。建設業体験に女の子が多くなっているというのは良いなと思った。
- 各団体が行なっている活動が参考になった県単位で活動されているところもあり、自分の住んでいる地域でも行われているのか調べてみようと思った

Q10.「東日本大震災・原子力災害伝承館見学」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

21 件の回答

- 涙を止められなかった。帰還困難地域の皆さんの気持ちを考えると、原子力発電の危うさのようなもの考えた。
- 改めて災害の悲惨さと今後も復興を続けていく必要性を認識しました。
- 訪問者がたくさんおられて、驚きました。
- 地震と原発事故の両方がわかりやすく伝える展示でよかった。前日の見学のお陰で内容は理解しやすかった。この施設のみ、あるいは最初であれば、長めに時間を取るとよいと思います。
- 二回目の来館でしたが、企画展があり良かったです。廊下に展示されている報道写真、何回見ても辛いですね。。
- 展示されていた写真にショッキングなものもあり、少しつらく感じた。
- 理解がかなり深まったので、最後の方は福島の人がどれだけ大変で辛かったか伝わってきて、泣きそうになるくらい胸がいっぱいになりました。
- 311以降、福島で起きた事を様々な資料で、知ることができました。来館者が多かったのも印象的でした。
- 企画展がとても良かったです。富田望生さんはじめ、経験を自分の思いで語っているのが刺さりました。
- 地域、立場で伝え聞く視点に違いがあると知れたのが良かった
- 涙が流れました

- もっと多くのひとに知ってもらいたい
- 周りに何も失くなっていて本当に自然災害は怖いと感じた。写真や映像が見ていられなかった。
- いくつかの震災遺構や施設を訪れたが、原子力災害に特化されて学びが多かった
- 原子力災害を含め、自然災害、戦争など様々な災害が起きて、このような立ち入りが禁止されるような事態に陥った時、どうすべきなのか、考えさせられた。
- 福島では、まだ大震災が終わっていないことを、改めて感じた。
- 展示内容の濃さに驚きました。また、多くの来館者があることにも、正直驚きました。こうやって、震災のこと原子力災害のことを、後世に引き継ぐ取組みをされていることを素晴らしいと思いました。
- 当時の自己概要や突然避難を強いられた方々の思いがわかる資料館でした。
- 震災の日、原発の現場で何があったかを改めて知ることができました。自分の中の震災の思い出やまだ消化できていない感情などを少し整理できました。また個人的に行ってみようと思いました。
- 日常が崩れていく様子や、当事必死に救助や1F対応をしていた跡を見て泣きそうになった。家族がいて笑って生きていられることがどれだけ幸せか痛感したし、絶対に忘れちゃいけないんだと思った。
- 被害の状況が目に見えて分からないものの責任を取るというのは非常に難しいことだと感じた。不祥事を起こしてしまった企業に勤める人たちは非常にストレスフルな環境にいるのだなと思った”

Q11. 「中間貯蔵施設見学」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

21件の回答

- 再利用について、技術的な解決ができて、心情的な理解は30年では解決できないのではないかと想像した。
- 土地の提供していただいた、と説明がありました。現在提供された土地は環境省の所有になっているのか？聞きたかったです。
- 実際に訪問して、理解が深まりました。線量計を貸していただいて、計測できたのは、おもしろかったです。
- 今なお自宅にもどれず、当時のままの家屋や学校を見て福島の復興はまだまだだと実感しました。
- トンパックに詰められた除去土壌がその後どうなるのか知らなかったのもとても勉強になりました。仕事上除染トラックとの関わりが深かったので、もっと早く見学に来れば良かったと思いました。
- 社員の話がわかりやすく、時間もちょうどよかった。

- 最終処分や再利用に向けた取り組み、ぜひ頑張ってもらいたいと思いました。再利用する場合、現場ではどのように品質や安全性を示して施工で使用すればいいのかが分からないので、なかなか難しい気がしました。また、RI 測定器などは使用できるのかどうなるのか少し気になりました。
- 敷地が思ったより広くて驚きました。丁寧な選別作業が行なわれていることにも感銘を受けました。30年後に地元に戻ることを祈っています。
- 事業全体のお話を聞けるのは貴重な機会でした。
- あんなに沢山見かけた黒のトンパックがどこに行ったんだろうと思ってた謎が解けました。また、30年後に向けての動きも注視しなければ、という思いがうまれました
- 最終処分場の設計に携わって経験があります。日本海に浮かぶ島でした。中間施設とはいえ、地元住民の協力を感謝します。
- 厳密な管理をしている事
- 除染の後の処理をどのように行っているのか、よくわかった。
- 土地の所有者との協議の経緯等なかなか聞くことがない話も聞いて良かった。
- 説明がとても分かりやすかった。きちんと管理されていると感じた。
- 人が住めなくなっているという事実が、目の前に迫ってきた。
- 中間貯蔵施設内に立ち入って現場を見せていただいたことで、リアルな経験ができてよかったです。線量計を貸していただきましたが、施設の中心に近いところより、周辺の方が線量がかなり高いことを自分で測って知ることができ、現地の汚染が激しかったこと、中間貯蔵は安心できる施設であることがよくわかりました。
- 汚染土壌の処分方法については日本全体的な課題であると認識しました。
- 全てゼロから人が考え、作った施設であることを実物を見ることで思い知りました。そこで働く人の思い、土地を去った人たちの思いなどを実感することができました。まさに百聞は一見にしかずだな、と思いました。あの施設を考えて実現している技術者という仕事は素晴らしいなと思いました。
- 地域住民の方の理解があって出来ている事だということと、除去土壌の再生利用については、建設業従事者としてもっと関心をもっていかなければと思った。
- 土の問題があるのは初めて知った。技術者として知識は少ないが、とりあえず知識を仕入れて勉強しようと思った。

Q12. 今回の現場見学会で運営、行程、内容等で改善すべき点、また良かった点などがあれば教えてください。

24件の回答

- 参加者の皆さんがキビキビと動いてくださったので、ほぼ時間通りにスケジュールが進めることができた。
- タイトスケジュールでしたが、盛りだくさんで充実した見学会でした。タイトスケジ

ールをやり遂げた達成感も味わえました。

- すべて、よかったです！屋代さん初めスタッフのみなさんのきめ細かなご案内やご準備、当日の的確な運営、素晴らしかったです。
- 準備や配慮が行き届いていたお陰で、盛り沢山でタイトなスケジュールも気にならず、円滑に進みました。スタッフの方に感謝します。
- スムーズに充実した日程でとても良かったです。ここまでの団体の段取りはかなり大変だったと思います。ありがとうございます。
- 幹事の皆さんのご準備とスムーズな運営に感銘を受けました！素晴らしかったです。充実した2日間でした。
- 内容が濃厚だった事が良かったです。
- 充実した内容で大変よかった
- 非常に良かった
- スムーズに進められた。名札を使ったのは良かったと思う。参加者同士が懇親する時間を作ればよかったが、限られた時間では難しかった。
- 内容が盛りだくさんで、時間管理が大変だったと思うが、色々見られて良かった。
- 全体を通じて、とてもよい見学会でした。一つひとつの行程がすべて関連があり、全部に参加できたことで、より多くのことを得ることができました。スタッフのみなさんに感謝いたします。特に中心にご準備いただいた北原さん、屋代さん、ありがとうございます！
- 密度の濃い、質の高い内容がたくさんあり、本当に勉強になりました。何より皆が安心して過ごせる空気を作ってくださったことが本当によかったと思います。
- 1ヶ所をもう少し時間をとって見学できたらいいなと思います。
- 名札に日程が書かれているのが非常に役立った福島に関わる様々な立場の人たちからの意見を聞いたことがとても有意義でした
- 改善すべき点はなかったです！
- お昼の時間が短かったので、もう少し時間がとれるとありがたかったです。
- 昼食時間が短かった。
- 企画から当日まで大変お疲れさまでした。スムーズな運営をありがとうございました。バス発だったので致し方ないかもしれませんが、参加者さん皆さんの自己紹介時間などがあると良かったと思います。(初回参加だったので)
- もう少し余裕を持たせても良いと思う
- せっかく行くからにはトータルで学習できて良かったと思います。売店で福島県産品などを見てもらう時間が少しはあれば良かったかな。詰め込み過ぎかと思いましたが大きな遅れなく動けるのは皆さん技術者だからなのかと思いました。ただ、睡魔と戦いながら講話を聞く羽目になるので休憩時間はもう少しあった方が良かったと感じました

- 工程にあまり余裕がなく、資料館見学や食事等もう少し時間があってもいいかと思いました。
- やはり少々忙しかった。自分の中でかみしめる時間がない。

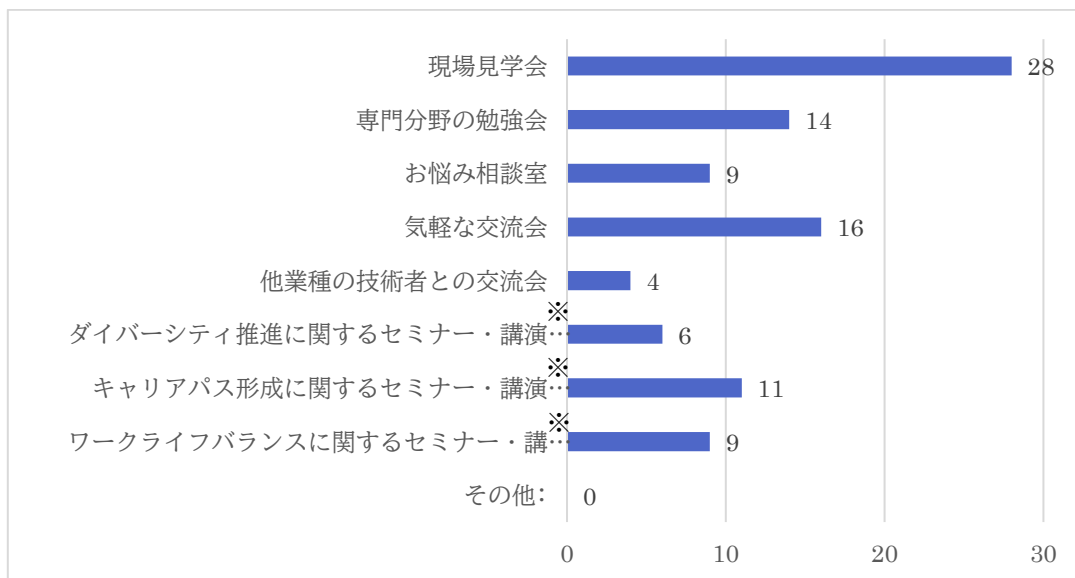
Q13. 今後の現場見学会で行ってほしいこと、ご提案などがあれば教えてください。

16 件の回答

- 定期的に原発の視察をしてみたい
- 4年か5年後の開催を希望します！今回参加した我々には、この先を見届けていく責務があると感じました。
- 福島原発は定期的に開催してほしいです
- 私は、数年後の次ステップに移った原発に行きたいです！また、橋梁技術者なので、桁の架設など見られたらよいなあと。
- 本企画に沿っていないかもしれないが、他企業様も集まる唯一の機会なので、懇談出来る場があってもいいのではないかと感じた。学生も参加していたため就職先候補の一環にもなるのではとおもった。
- 今後3-40年続く廃炉作業を追っていけるよう、定期的な当見学会を希望します。
- 地域の建女会のみなさんとの交流は初めてでしたが、とてもおもしろかったし、勇気と元気をいただきました。このような交流が今後もできるとよいと思います。
- 遠隔地や複数現場の見学
- 秋田県の流域下水道とその周辺地区のカーボンニュートラル施策
- 次福島開催の時は温泉旅館に泊まって宴会をしましょう。会議室のある温泉宿も沢山ありますので選定のご協力いたします。あと、会のPRと女性技術者そのもののPRのために、地元の建設新聞社や地元新聞社に取材に来てもらえば良かったな、と後で思いつきました。
- 黒部ダム
- 青森に行ってみたい。
- 首里城の建設現場
- 何処でも。
- 特に無いです
- 今は、思いつきません。

Q14. 土木技術者女性の会が企画する場として、参加してみたい企画があれば教えてください。(複数回答可)

29 件の回答



※セミナー・講演会・意見交換会

Q15. 最後に、ご意見や感想などがあれば、ご自由にお書き下さい。

20 件の回答

- 初めて原子力発電所を見学させていただき、現職ではなかなか聞き慣れない単語や施工方法を聞くことができ勉強になった。
- またこのような機会を企画いただきたいと思う。
- 社会人の方と一緒に見学をすると、学生だけの見学とは違う視点での質疑応答があり、とても勉強になります。現場見学会に参加させていただき、ありがとうございました。
- 二日間で F1 に詳しくなりました。おつかれさまでした！！
- 建設専門外の方にも紹介したいのですが、良いでしょうか？
- 本当にありがとうございました。自分自身の知見を広げる機会として、最高のイベントでした。いろいろ、考えさせられたし、これからも考えて行こうと思いました。
- 土木学会との調整、中間貯蔵施設の見学などご苦労があったことと思います。単独では出来ない見学や説明があり大変貴重な経験をさせていただきました。協力や調整にご尽力いただいたスタッフの方に感謝します。
- 参加して本当によかったです。すごく勉強になりましたし、あらためて土木って大切だと胸を張って言えるなと思いましたし、もっと女性技術者との交流を深められたらいいなと思いました。ありがとうございました。
- 女性の会のメンバーの多様性と関係のフラットさが、居心地良かったです。2 日間大変お世話になりました。ありがとうございました！

- 今回はスタッフだったにもかかわらず、あまり関われなくて心苦しく思います。特に、屋代さん、北原さんにはお忙しい中、たくさん調整いただき、心より感謝します。中田支部長、沼田さんもありがとうございました。みなさまお疲れさまでした。
- 幹事の皆様お疲れ様でした&ありがとうございました。また、タイミングが合えば是非参加したいと思います
- 男性一人の参加となりましたが、皆さんが受け入れて下さったことに感心します。サポート会員として微力ながら協力したいと思います。
- 運営の方々の企画や工程が充実していて大変良かったです。ありがとうございました。
- 5年後にまた開催して、福島の現状をこの目で見たい。また、参加者同士の懇親を深めたい。2029年2月にお会いしましょう。
- このような見学会に参加できて良かった。また、参加したい。
- 参加できて、ほんとうによかったです。屋代さんが懇親会のおきにおっしゃった、インフラ整備に関わる我々は、人々の役に立つことをしているつもりでいるが、ひとつ間違えると社会に多大な影響を与えかねないことを心せねば、ということ、まさにその通りだと感じました。インフラ整備に携わる多くの人に経験してもらいたい現場見学だと思いました。私も、仕事観が変わるぐらいの衝撃を受けました。どうもありがとうございました！
- 皆さんとの出会いに感謝いたします。スタッフの皆様も仕事をしながらのご準備ありがとうございました。自分自身が土木の魅力を改めて知ることができました。また、お会いした皆さんが素敵な方ばかりで、「この日本（あと建設業界で）で女性であることはなかなか大変だけど、やっぱり女性に生まれて良かったな」と思いました。
- 東北に住み、震災も経験していながら、こんなに震災と復興について触れた事はなかったと思う。とてもいい経験ができました。ありがとうございました。
- 企画をしていただき、ありがとうございました
- 10数年前よりも女性が増えており、このような会でたくさんの女性技術者がいると思え、とても嬉しいです。女性にとって人生の中で仕事を諦めずに働き続けることができるよう、みんなの希望を持てるような会でいてください。
- 貴重な機会を頂きありがとうございました。

以上